

# 産禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・産禅洞診療所

● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談

診察日：月曜・木曜・金曜

受付時間：9:00~12:00

〒502-0017 岐阜市長良雄総878-16

IP Tel:058-295-9545

FAX:058-296-3903

E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp

http://zazendoh.town-web.net/

173号 2018.8.1.

毎月1回発行 産禅洞診療所 松井英介

## 記憶のリセット

松井 英介



堺は、何回も空襲されていますが、1945年7月9日深夜から翌10日にかけて最大の空襲を受け、3000人余りが死傷する大きな被害があったため、堺大空襲と呼ばれています。この空襲で私は家を焼かれ、すべてを失いました。

4歳の弟・尚信は両親と逃げた広場で大やけどを負いいのちを奪われました。2歳の妹・知世は逃げ込んだ防空壕で踏みつぶされ、翌日いのちを失いました。私は国民学校2年8歳でしたが、家族とはぐれひとり焼夷弾の雨の中を海まで逃げ生き残りました。

このときアメリカ軍が使った爆弾がナバーム弾だったことを、後になって知りました。

ナバームとは、ルーズベルト大統領の指揮下アメリカ政府と軍が1940年約1億ドルの資金を提供し、ハーバード大学に設置した国防研究委員会が開発したゲル状焼夷剤のことで、ナバームは1100度の高温で燃え続け水の中でも消えないので、消すことができません。この残虐な兵器は1945年3月10日一夜にして10万人を焼き殺した東京大空襲をはじめ日本各地で使われ、堺はその一環でした。

1965年スタンフォード大学の学生と教職員20人ほどが、〈ヴェトナムの平和のためのスタンフォード委員会〉を発足させました。ナバーム製造に反対する抗議行動が始まったのです。その活動はやがてゲル状焼夷剤の最大の製造会社ダウ・ケミカルに対する全国的な抗議行動へとつながっていきます。この委員会のナバーム・ニューズレター改訂版は、ヴェトナムでは30万から40万人の一般人の死傷者が出ている現実を示し、「ナバームで殺された人々は文字通り生きたまま焼かれたのである」と結んでいます<sup>1)</sup>。

記憶のリセットを許すな！

東京と広島に住む詩人アーサー・ピナードさんは怒りをこめて話しています。

「広島土砂災害のあった八木地区の昔の地名は八木蛇<sup>やまじやらくじあしだに</sup>落<sup>おち</sup>地<sup>ぢ</sup>悪<sup>あく</sup>谷<sup>や</sup>、蛇降<sup>へびふり</sup>のような水害が多かったということは昔の地名には示されているのに。つまりひとが住んでいいところじゃないんだ ね」これ行政と不動産屋の結託？「広島市内の地名も変えられていつてる。これは記憶のリセット、つまり地名が記憶している原爆の記憶のリセット。つまり削除」たとえば関東大震災での朝鮮人虐殺の記憶も削除<sup>2)</sup>。

【文献】1) ロバート・M・ニア著 田口俊樹訳「ナバーム空爆史—日本人をもっとも多く殺した兵器」（2016年）太田出版。

2) 週刊金曜日2018-07-27 (1194号) P.56から引用